

会 議 録

1 会議名

令和3年度第12回安塚区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○報告（公開）

（1）令和4年度地域活動支援事業について

○自主的審議事項

（1）住みやすい安塚の在り方について

○その他（公開）

3 開催日時

令和4年2月22日（火）午後6時から午後7時5分まで

4 開催場所

安塚コミュニティプラザ 3階 大会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：池田裕夫、石田ひとみ、小松光代、新保良一、中村真二、外立正剛

松苗正二、松野修、吉野誠一

・事務局：安塚区総合事務所 岩野所長、石川市民生活・福祉グループ長（併教育・文

化グループ長）、村松班長、萬羽主任

8 発言の内容（要旨）

【村松班長】

・会議の開会を宣言

・上越市域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【松苗正二会長】

・挨拶

【村松班長】

本日の会議録の確認は、内規により松苗正二会長にお願いする。

条例第8条第1項の規定により、松苗正二会長から議長を務めていただく。

【松苗正二会長】

それでは、次第3報告事項（1）令和4年度地域活動支援事業について、から議事を進めていく。

事務局に説明を求める。

【萬羽主任】

資料No. 1から4に基づき、令和4年度地域活動支援事業募集要項等の案の内容について説明。

【松苗正二会長】

事務局から説明があつたが、何か質問等あるか。

（質問なし）

プレゼンテーション及び全体審査を公開とするかどうか、委員の意向を確認したいとのことであつた。皆さんの意見を順番に伺いたい。池田裕夫委員はいかがか。

【池田裕夫委員】

公開する場合、どのような実施方法を想定しているか。

【萬羽主任】

プレゼンテーションや全体審査について、防災行政無線等で開催日を事前にお知らせし、一般の方でも傍聴いただけるような形で実施したいと考えている。

【池田裕夫委員】

会場は、安塚コミュニティプラザの2階ホールになるのか。

【萬羽主任】

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策も考慮し、できる限り広い会場で実施したいと考えているが、例年プレゼンテーション及び全体審査は安塚コミュニティプラザの3階大会議室で実施しているため、令和4年度も同様に考えている。

【池田裕夫委員】

承知した。

【小松光代委員】

通常の地域協議会の場合、会場の都合により、傍聴の方は10名までということになっている。プレゼンテーションについても同様の制限を設けることになるのか。

【萬羽主任】

通常の地域協議会の場合、委員は12名であるが、令和4年度の市の審査については、5人以上の職員で審査を行う予定である。地域協議会の時よりも座席の間隔等を詰めて実施することが可能であるため、10名以上になった場合でも傍聴いただけるような形にしたいと考えている。

【小松光代委員】

承知した。

もう1点確認したい。募集期間が4月1日（金）から4月28日（木）までとなっているが、4月や5月初めに事業を実施したい場合は補助金を活用できないということになるのか。

【萬羽主任】

Q&Aなどにも掲載されているが、地域活動支援事業では、事業提案書の提出日以降であれば、採択前であっても事前着手が認められている。早い時期に実施したい事業がある場合は、できる限り早いタイミングで事業提案書を提出いただければと思う。

【小松光代委員】

そうすると、事業提案書の提出後、事前着手をした事業で結果的に不採択となった場合は、全額自己負担になるという認識でよいか。

【萬羽主任】

そのとおりである。事業提案書の受付の段階でも提案団体にその旨説明させていただく。事前着手をして結果的に不採択となった場合は、自主財源で対応いただくことになる。

【小松光代委員】

承知した。

【新保良一委員】

参加するかどうかはともかく、やってみようという集落がある場合は、傍聴することで今後につながると思うので、公開した方がよいと思う。

【村松班長】

地域活動支援事業については、令和4年度は経過措置として実施するものである。令

和5年度からはまた別の形のものになる予定であるため、地域活動支援事業は令和4年度が最終年度の予定ということでご理解いただきたい。

【新保良一委員】

承知した。

【中村真二委員】

正直なところ、公開・非公開どちらでもよい気がしている。どちらがよいというのは、今すぐに判断できない。市の方でやりやすい形で実施してもらえればよいと思う。

【外立正剛委員】

最終的に地域協議会に対して審査結果が報告されるため、プレゼンテーションと全体審査のいずれについても公開しなくてよいと思う。

【松野修委員】

公開でよいと思う。

【吉野誠一委員】

地域活動支援事業の審査は既に地域協議会の手を離れているので、市の裁量の中で実施してもらえればよいと思う。

【松苗正二会長】

皆さんの意見を確認した結果、公開しなくてよいという方が2名、公開した方がよいという方が3名、中間が1名であったと思うので、公開の方向で考えたい。ただし、プレゼンテーションと全体審査のいずれも公開にするのか、という点もあるので今一度決を採りたい。

プレゼンテーションについて、公開した方がよいとお考えの方は挙手をお願いしたい。

(挙手多数)

次に全体審査について、公開した方がよいとお考えの方は挙手をお願いしたい。

(挙手少数)

それでは、プレゼンテーションについては公開、全体審査については非公開ということをお願いしたい。

以上で令和4年度地域活動支援事業についての報告は終了する。

次に次第4自主的審議事項「住みやすい安塚の在り方について」の協議に移る。

資料No. 5、6に基づき、2月8日(火)に開催した小委員会における検討結果を

説明。

資料の内容について、何か質問等あるか。

(質問なし)

アンケートについては、中学生以上の地域住民全員を対象とする方向で考えている。世帯の中には、世帯主以外に若い方などもいると思うが、中学生以上の方全員を対象にしたい。アンケートについて、意見のある方はいるか。外立委員は小委員会に参加していなかったと思うが、いかがか。

【外立正剛委員】

区分についてはこれでよいと思う。企業等に対するアンケートは、地域住民に対するアンケートと同じ内容のものを使うのか。

【松苗正二会長】

アンケートについては、地域住民のみを対象に実施する。回答者が重複することにもなるため、企業や学校関係等に対しては実施しない。

新保委員はいかがか。

【新保良一委員】

案のとおりでよい。企業等にアンケートを実施することについては、最初から反対であった。

【松苗正二会長】

それでは、区分とアンケートの実施方法については、皆さんから了承いただけたということでこの内容で進めていく。

今後、区分ごとにどのように意見交換を実施していくかについては、まだ具体的に決まっていない。しかし、区分1の町内会・自治会や区分2の企業等については、人数が大変多くなるため、意見交換の実施にあたり、ある程度の人数でグループ分けを行い、ワークショップ形式で意見交換を進めていってはどうかと考えている。そのような形でよろしいか。特に問題等ないか。

【中村真二委員】

意見交換の方法については、基本的に全てワークショップ形式を取り入れて行う方がよいと思っている。区分1から3については、それぞれ役職のある方が多く、問題意識や意見を持っていると思われることから、普通に話し合いをする感じでよいと考えているが、区分4の子どもたちについては、工夫が必要である。以前、地域協議会でも実施

したことがあったかもしれないが、まず付箋に各自思いつくことを書いてもらい、それを集計しながらまとめていくといった方法を取り入れるなど、ある程度工夫した方が子どもたちも意見を出しやすいと思う。いきなり意見を聞きたいと言われても、子どもたちは面食らってしまうかもしれない。

【松苗正二会長】

ほかに意見等あるか。

【池田裕夫委員】

アンケートの配布及び回収について、松苗会長の方で2月10日（木）に町内会長・自治会長へ依頼したとのことであるが、町内会長・自治会長から何か意見等あったか。

【松苗正二会長】

特に意見はなかった。後日、「説明を受けたので、アンケートの配布及び回収について、ご協力します」というふうに直接ご連絡をいただいた方もおり、基本的に皆様から了承いただけたものと考えている。

【池田裕夫委員】

承知した。

【松苗正二会長】

ほかに意見のある方はいるか。

（意見なし）

それでは、区分1から3については、ワークショップ形式でグループを作って意見交換を行うという方法で、今後、区分ごとに日程を決めていくこととする。区分4については、先ほど中村委員から意見のあった方法がよい考えであると思うので、それを踏まえて検討していく。

【松野修委員】

意見交換の順番は区分1から順に実施していくのか。

【松苗正二会長】

順番については、特にどこからということもないが。まずはアンケートが先であるので、アンケートの集計後、町内会長・自治会長との意見交換から順番に進めていくのがよいと思う。そこで出た意見等を踏まえて、企業等との意見交換に臨んでいけば進みやすいものと考えている。

【松野修委員】

承知した。

【松苗正二会長】

企業等については、日程の調整がなかなか難しいかもしれない。

それでは、アンケート及び意見交換の実施方法と区分については、本日は承いただけ
たということでもよろしくお願ひしたい。

また、意見交換について、地域協議会委員は全員参加ということ考えているので、
そちらもよろしくお願ひしたい。

【新保良一委員】

アンケートの集計後、各団体との意見交換の実施に先立ち、地域協議会委員で集まっ
て、アンケートの結果について協議することは考えているか。

【松苗正二会長】

その点については、まだ検討していないが、アンケートの回収後はまず集計をしなければ
いけない。集計については、事務局の方で実施してくれるものと考えているが、集
計完了後、各団体との意見交換の実施前に地域協議会の中で協議すべきであると考えて
いる。

【新保良一委員】

ぜひそれはやってもらいたい。各団体と意見交換をする中でアンケート結果について
の地域協議会の考えを聞かれることもあり得るので、協議しておいた方がよいと思う。

【松苗正二会長】

そもその考えとして、アンケートをとって、その結果を踏まえて意見交換に向かう
というのが前提である。アンケートで出てきた意見について、委員個人というよりも地
域協議会全体としての考えを持って意見交換に臨むべきであると考えている。

ほかに意見等あるか。

(意見なし)

それでは、前回の小委員会で検討した事項については、小委員会が策定した案を基に
進めていくこととする。

今後についてであるが、引き続き小委員会で検討を進めていくべきなのか、全体会と
して地域協議会の中で進めていくべきなのか、意見のある方はいるか。なぜこのような
ことをお聞きするかというと、アンケートの実施までの期限が切迫しているためである。

全体の意見として、小委員会だけで検討を進めて構わないという意見であれば、これまでどおりの進め方を継続する。池田裕夫委員から順番に意見を伺いたい。

【池田裕夫委員】

私は前回の小委員会に参加していたが、その中でも意見が分かれていたと思う。基本全員参加にした方がよいという意見と固定メンバーによる小委員会で検討した方がよいという意見があった。私自身はそれについて決論が出せていないので、皆さんの意見をお聞きしたい。

【小松光代委員】

当初もそうであったが、小委員会で検討した案を全体会に持っていくという流れが一番簡単であると感じている。しかし、小委員会については、参加するメンバーや人数を明確に区切るのではなく、そこに参加できる人は自由に参加できるという形であってもよいと思う。あまり窮屈にしない方がよい。

【新保良一委員】

小委員会ではなく、全体会でもよいと思う。全体会であれば、全員が話の内容を理解できるし、発言したければ自由に発言できる。私はその方がよいと思っている。

【中村真二委員】

小委員会の時にも発言させてもらったが、全体会の回数が増えてしまうと負担が大きい。個人的な事情もあるが、コロナ禍で色々と厳しい面が多く、地域協議会に力を入れる余裕があまりないというのが正直なところである。

先ほど小松委員が言われたような感じであれば、私としても頑張って半分くらい参加したいと思っている。

全体の意見として、小委員会のメンバーを固定して進めていった方がよいということになれば、それに従って小委員会のメンバーの方をお願いしたいと思っている。

【外立正剛委員】

アンケートの内容等の検討については、小委員会のメンバーを固定して進めた方がよいと思う。最初から全体会で検討した場合、色々な意見が出てまとまらなくなってしまう。8月中に各団体との意見交換のまとめまで完了するという計画になっていることから、小委員会でたたき台となる案をつくり、それを全体会にかけるという流れがよいと思う。

【松野修委員】

どちらの方が意見を出しやすいかというふうに考えていたが、難しいところである。意見は違ってよいと思うし、その場でまとまらなくても最終的に全体会でまとめればよい。小松委員が言ったとおり、小委員会のメンバー以外の人でも参加できる人は自由に参加してもらえばよいのではないか。人選は松苗会長にお任せする。

【吉野委員】

私はこういった会の進め方の常道として、固定したメンバーで構成された小委員会をつくり、そこで出てきた意見をたたき台にまとめて、全体会に諮るべきと考える。最終的には全体会の中で決まるのであって、たたき台を作るための小委員会である。その方が進めやすいと考えている。

【松苗正二会長】

皆さんの意見を確認した結果、メンバーを完全に固定あるいは半数程度固定にした方がよいという意見の方が5名、はじめから全体会の方がよいという意見の方が1名であった。このことから、今までどおり概ね半数程度の方から小委員会へ出席いただき、メンバー以外の方であっても都合のつく方は自由に参加してもらいたいと思う。

今後アンケートの実施まで非常にタイトなスケジュールになるが、全体会の開催はこれまでどおり月に一度でよいか、意見を伺いたい。

【中村真二委員】

回数は月に何回というふうに決めるよりも、必要に応じて開催するという考え方の方がよいと思う。必要がないのに集まっても仕方がない。これまでに何かをしなければならなくなれば、その必要性が出てくる。定期的な回数でなくてよい気がする。あらかじめ決めておいた方がよいというのであれば、一応決めておいて、またさらに必要があれば臨時で開催するという考え方でもよいかもかもしれないが。

【松苗正二会長】

それでは、まずは小委員会の回数を増やしてそこで色々と揉んで、それを月に一度の全体会に諮るということによろしいか。それでよいという方は挙手をお願いしたい。

(挙手多数)

【外立正剛委員】

最終的には6月か7月頃に意見交換会を開催する計画になっている。ある程度全体のスケジュールのようなものを示せるようになる段階まで小委員会で検討するのか、それとも全体会で話し合うのかが見えてこない。アンケートの回収後は、結果を分析して意

見交換会に臨む必要があり、全体で集まって話し合っていると時間がなくなると思う。小委員会は参加できる人が自由に参加するという形ではなく、メンバーを固定して進めた方がよい。

【松苗正二会長】

それも一つの考え方であるが、小委員会については、全員が順番に参加するというふうに以前決めていたと思うので、半数程度を入れ替える形で開催していきたい。ただし、外立委員や吉野委員など毎回参加いただけるという方は、そのようにお願いしたい。

【外立正剛委員】

途中でメンバーが入れ替わると話の内容が続いてこなくなってしまう可能性がある。時間も限られているので、まずは小委員会で検討し、その後全体会に諮るという流れにした方が進みやすいと思う。

【松苗正二会長】

地域協議会は役所ではない。物事を進めるうえではそのような方法がよいかもしれないが、皆さんの意見をしっかりと聞く必要があると思う。できる限り多くの方から参加してもらって会議を進める方がよい。

【吉野誠一委員】

ここでいう小委員会というのは、原案づくりを行う会に過ぎない。

【松苗正二会長】

それは分かっている。

【吉野誠一委員】

最終的に全体会に諮るわけである。小委員会のメンバー以外の方であっても、小委員会を傍聴することはいくらかでも自由である。私は、小委員会のメンバーが一定の責任を持ち、あらかじめ自分なりに勉強したうえで小委員会に臨み、小委員会で原案をつくって全体会に諮るという形がよいと考える。そして、全体会で議論を行い、決定するというのが会の進め方としてスムーズであると思っている。小委員会のメンバーをなぜ固定した方がよいかといえば、メンバーを固定すると、1回目から2回目、3回目というふうに回を重ねた時に流れを全て把握することができるので、原案づくりを進めやすいと思う。一度決まったことを蒸し返すつもりはないが。

【松苗正二会長】

ほかに意見のある方はいるか。

(意見なし)

全体の総意として、半数ずつ小委員会に参加するという事に決まったので、よろしくお願ひしたい。

今後、アンケートの内容を決めていかなければならないが、本日この場で話し合うのは難しいと思うので、また小委員会で検討を進めていきたい。

アンケートの内容を検討するうえで参考になる資料があれば、提供してほしいという話をしていたが、事務局はいかがか。

【萬羽主任】

市の方で行っている総合計画の策定に伴うアンケートなどは資料として提供可能であるが、前回の小委員会の中で吉野委員から島根県海士町のアンケートに関する資料を提出いただき、それを基に検討するという事になっていたと思う。

【松苗正二会長】

それについて検討しようという話はなかったと思う。

【萬羽主任】

アンケートの内容について、それらの資料を基に皆さんの意見をお聞きしたいという提案が吉野委員からなされていたと思う。

【松苗正二会長】

なければないでよいが、参考になる資料があれば出してほしいという話をしていた。

【村松班長】

事務局の方で調べた結果、安塚区地域協議会が今回実施しようとしているアンケートの内容に合致するものはなかったということでご承知おきいただきたい。

【松苗正二会長】

本日は大雪の中でもあるので、先ほど決めた方法で今後アンケートの内容について検討を進めていく。

以上で自主的審議事項についての協議は終了する。

次に安塚区地域協議会としての審議内容について、確認を行う。事前に事務局へ審議依頼書の提出はあったか。

【村松班長】

事前の提出はない。

【松苗正二会長】

今回審議依頼書の提出はなしということで、審議依頼事項がある場合は、また次回協議会開催日の1週間前までに事務局へ提出をお願いしたい。

次に次第5その他(1)次回協議会の開催日について確認する。通常であれば、次回地域協議会は3月22日(火)開催となるが、都合の悪い方はいるか。

(意見なし)

それでは、次回第13回安塚区地域協議会は3月22日(火)午後6時から開催とする。

その他連絡事項等あるか。

【村松班長】

次回の小委員会について、日程と参加者を決めていただきたい。

【松苗正二会長】

3月22日(火)が地域協議会の開催日となるので、その1週間前か2週間前に小委員会を開催したい。3月8日(火)午後6時からでよろしいか。

(「はい」の声多数)

【吉野誠一委員】

今回の小委員会は、アンケートの設問の原案をつくることになり、何回か開催しないとまとまらないと思う。3月22日(火)までに2回か3回くらい小委員会を開催できる日程にしておいた方がよいのではないか。

【松苗正二会長】

吉野委員から意見があったが、3月8日(火)でよろしいか。3月8日(火)の検討の状況を見て、その後さらに小委員会を開催するかどうか決めたいと思うが、それでよいという方は挙手をお願いしたい。

(挙手多数)

それでは、3月8日(火)午後6時から小委員会、3月22日(火)午後6時から地域協議会を開催する。

【吉野誠一委員】

もう1点お願いしたい。3月8日(火)の小委員会に参加する方は、アンケートの設問の内容について、責任を持って各自事前の検討をお願いしたい。

【松苗正二会長】

まだ参加するメンバーは決まっていないが、何もない中で話し合うのは難しいので、各自事前の検討をお願いします。

今回の小委員会のメンバーは前回と同じ方をお願いしたいと思うが、いかがか。

【中村真二委員】

今回は都合が悪いため、欠席させてほしい。

【松苗正二会長】

承知した。前回のメンバーで都合のつく方は出席をお願いしたい。

【吉野誠一委員】

中村委員の代わりは決めなくてよいのか。外立委員から出席してもらってはどうか。

【松野修委員】

前回の小委員会で吉野委員から配布のあった資料は、参加したメンバー以外のところには配布されていないのか。

【萬羽主任】

前回吉野委員から提出いただいた資料については、今のところ前回の参加者にのみ配布している。

【松野修委員】

全員に配布してもらった方がよいと思う。

【萬羽主任】

承知した。

【松苗正二会長】

それでは、今回は前回のメンバー及び外立委員から出席いただきたい。

そのほか事務局から連絡事項等あるか。

(連絡なし)

会議の閉会を宣言

9 問合せ先

安塚区総合事務所総務・地域振興グループ TEL：025-592-2003（内線 23）

E-mail：yasuzuka-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。